

ひゅーまん ねつとわーく

地域に生きる

2008年1月発行 / 第32号

社会福祉法人北摂杉の子会 社会福祉法人北摂杉の子会後援会 萩の杜家族会 ジョブサイトひむろ家族会
ジョブサイトよど家族会

〒569-0071 大阪府高槻市城北町1丁目6-6 奥野ビル402 TEL 072-662-8133 FAX 072-662-8155 info@suginokokai.com



独自商品の開発・試作に取り組むジョブサイトよど厨房より



新年のご挨拶

社会福祉法人北摂杉の子会

理事長 ^{なか} ^{むら} ^{せつ} ^し
中 村 節 史

何か、世の中の大きな変化と新しい動きの始まりを予感させる新年の幕明けとなりました。皆様におかれましても、新鮮な思いで新しい年を迎えられたことと存じます。

一昨年に引き続き、昨年も「障害者自立支援法」に大きく影響された一年でした。

念のため、昨年のご挨拶を見てもみると、今現在の心境と全く同じ思いが述べられております。一昨年は「障害者自立支援法」の全容がはつきりしないため活動全体が大きく振り回され、昨年は「障害者自立支援法」の中身の運用について「国」、「地方自治体」、「我々」の間の認識に必ずしも統一されていない部分があったことなどにより、活動のスケジュールが大幅にくるってしまいました。そういう意味では欲求不満の一年であったと思います。しかし、関係各位のご努力のお陰で、大分すっきりしてきており、萩の杜の新事業体系への移行も3月に実施される予定ですので、今年度よりは事業活動もスムーズに展開できることになると考えております。

平成20年度の運営方針につきましては、本機関誌の4月号に掲載させていただきますが、昨年すでに、第2次中期5ヶ年計画を策定しておりますので、大筋では、その2年目の計画を着々と実行していくことになろうかと思っております。

私が今年度も改善を進めたいと思っていることに、職員のかたがたの労働環境、条件の改善があります。制度の変更などにより一番しわ寄せを受けているのは利用者の方と職員の方だと思います。職員の皆さんは本当に献身的に仕事に取り組んでいただいておりますが、疲弊していることも事実です。このままではきちんとした利用者支援を安定的、継続的にやっていくのは中々大変だと危惧しております。社会的にも発言は必要ですが、まずは法人内の風通しを更に良くし、職員の皆さんの意見をよく聞いて、皆で知恵を絞って、具体的改善を進めたいと考えております。

又、今年度は当法人設立10周年に当たる節目の年でもあります。設立の準備段階から関わったメンバーのかたがたにとりましては、ある種の感慨をいただく特別な年にあたると思います。10周年記念行

事としては、我々がこの10年の間に蓄積してきたもの（療育、就労支援、地域移行などの活動）を中心にした講演会、シンポジウムを開かせていただくことと、法人設立以前より発行していた「杉の子だより」を含めた法人の機関誌を一冊の書籍にまとめあげ、活動の証として皆様がたにお届けすることの二つを計画しています。

今回の機関誌の「社会福祉法人北摂杉の子会設立10周年を迎えるにあたって」につきましては、その思いを語っていただくのに最もふさわしい方、法人設立時より8年間理事長を務めていただき、大変なご苦勞をおかけした今村一二三相談役に特別寄稿文をお願いいたしました。

私個人としても10周年を迎えるにあたり一つの思いがあります。

それは、法人設立にあたって心に決めていた事です。それは、せつかく法人を作るのだから、障害福祉の世界でも「大阪に風穴をあけてやる」ということでした。

具体的には ①利用者サイドにたったサービス ②事業経営に近代的経営手法を導入 ③他の法人にはない際立ちをもつ（自閉症と『地域に生きる』での際立ち） ④透明な運営と情報の公開（地域からも、行政からも、家族からも、職員からも見える）などをやっていこうと考えたわけです。

10年が経過し、確かに規模としては950名程度の利用者の支援、12の事業、135名の職員を擁する法人として、かなりの存在感はもってきましたし、「大阪に楔ぐらいは打ち込んだ」感はありますが、当時目標とした水準と比べますと、とても喜べる水準には到達していません。新年にあたり、今年はどう一度法人設立時の初心に帰って、「いい法人」実現のための活動を皆さんと一緒に進めて行こうと決意しているところです。皆様がたのご支援を何卒宜しくお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様には当法人に対し、日ごろより格別のご理解とご支援を賜っておりますことを深く感謝いたしますとともに、今年も皆様にとりましていい年でありますようお祈り申し上げ、年初のご挨拶とさせていただきます。

社会福祉法人北摂杉の子会 設立10周年を迎えるにあたって



社会福祉法人北摂杉の子会

相談役 いまむらかずふみ
今村 一二三

新年明けましておめでとうございます。皆様方には清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。日頃から 当法人および当法人の各施設・事業の運営に関しまして、格別のご支援をいただいておりますこと厚くお礼申し上げます。

さて 当法人も平成10年の設立以来この2月21日で節目の10周年を迎えることになりました。この10年間 この機関誌の最終ページにありますように、三つの施設を運営し、また種々の事業を展開することになりましたが、このように大きな規模になるとは法人設立当初は思っても見なかったことです。これもひとえに当法人を支援し、助言を戴いた皆様方のお陰だと深く感謝申し上げます。また同時にそれは福祉に関するハード・ソフト両面にわたる不十分さが、私どもをしてそうさせたとも言えると考えております。

10周年を迎えるに当たり、極めて私的な感想・思い出話になることをお許しいただいて私どもの活動の歩みを振り返ってみたいと思います。

私どもの活動は、法人設立より溯ること約4年半（平成5年12月）に重度の知的障害者を持つ親たち約30名が集まって、わが子たちが安心して生活のできる施設を作りたいとの思いで「杉の子会」を結成したのに端を発します。母親たちは色んな関係の繋がりでお互い顔なじみであった人たちが多く中で、この会は母親主体でスタートを切りました。父親たちの最初の出会いは、翌年1月のものでした。それぞれ女房たちに尻を押された形で、お互い知っている人が少ない中で、あるいは渋々あるいはおっかなびっくり、ほとんど初対面という状況で幾分ぎこちなく顔見せを行ったのを今となつては懐かしく思い出します。

それ以来 資金作り・建設用地探し・行政（大阪府）との折衝・地元の方への事情説明等々それは父親と母親との、そして親同士の横の共同作業の積み重ねでようやく法人設立に辿り着いた次第です。

あとで知ったことですが、「杉の子会」を結成し

た同じ平成5年、大阪市長居ではこれも親たちの手によって「にこちゃんクラブ」という自閉症児の療育を目的とする施設が産声を上げています。時期も同じ、親たちの手によるということも同じという何か奇しき因縁を感じざるを得ませんが、「にこちゃんクラブ」はのちに中身を充実させた上で「大阪TEACH療育相談室」さらには「NPO法人大阪自閉症支援センター」と名を変え、平成14年4月に、法人格取得後の「北摂杉の子会」と合併し、現在の「大阪府発達障害者支援センター（アクトおおさか）」の受託へと繋がっていくこととなります。

ところで法人の理事長についてですが、親の手になる法人ですので親の誰かが就くべきとの意見で一致し、当時「杉の子会」から名を変えた「北摂杉の子会設立準備会」の会長を、たまたま私が務めていたということで、私が初代理事長に就くことになりました。かかる意味で私については、他の法人の理事長のように識見が高く、経営能力に長けているといったことは一切なかった訳です。2年前に交代した現理事長 中村節史氏は、同じく利用者の親の一人という意味では、私と同じですが、長く一流企業の経営の一翼を担っておられた実績を持った人で、その意味で私とは全く違いがあります。

さて平成11年4月 念願であった入所施設である「萩の杜」を開所し、その秋に「短期入所事業」をスタートさせましたが、当初からの予定はここまででした。当時それ以上の事業拡大は全く念頭にありませんでした。ところが福祉への未成熟な制度・不十分な施策を見るにつれ、成る程わが子は施設に入れたが、まだ困っている多くの利用者や親たちがいるという現実を見ると黙って見過ごせないとの思いが、現在今あるこの規模の事業展開に結びついていきました。

事業拡大には今でもジレンマがあり、心の中には葛藤があります。つまり拡大すればするほど、管理面で齟齬を来す危険性が大きくなること、逆にまだ当法人での療育を望む人が存在すること、職員の安

定確保そしてその成長には一定の規模があった方がいいこと、等々もつとつとメリット・デメリットは考えられますが、いつまでもこのテーマについては私の心の中は、ジレンマに陥ったままかも知れません。現在では 事業展開について、①知的障害一般については、高槻・茨木を中心とする近隣域とする（地域化・一般化）、②自閉症・発達障害という特化分野については広域（現実的には大阪府）とする（広域化・特化）、という考え方で進めるというのが当法人の方針です。

そもそも法人の設立はそれ自体が目標であった訳ではなく、施設建設の認可を得るには、法人の設立がその前提であるとの条件がありました。この過程で この件について全くの門外漢であった私ども親にとって、そのプロともいべき行政（大阪府）との折衝は困難の連続で、何人もの親が、何度府庁を訪れたことでしょうか。これも今となつては懐かしい思い出です。

法人設立後 施設の建設が始まり、およそ1年を経た翌平成11年4月 最初の施設である「萩の杜」の開所に漕ぎ着けることができました。用地につい

ては、地主さんである西田さん・上田さんの協力が得られましたし、設計士・造成会社・建設会社、多くの方々に助けられて、この施設は完成しました。

私個人としては、ほとんど毎週建設の進行状況を障害者である我が子連れで見に行きました。そのせいに入所することになった我が子が、予ねて覚悟していたのか極めてスムーズに入所に応じたことが、嬉しくもあり、寂しくもあり複雑な心境でした。今ではすっかり「萩の杜」が我が家です。

個人的な思い出や感慨という観点では、書き尽くせないものがありますが、法人設立後10年間の経緯については、年表にありますとおりで、重複を避ける意味もあって省略させていただきたいと思います。

大きなタイトルを掲げながら、極めて私的な思い出話に終始したことをお詫び申し上げます。

終りに当たり 法人設立時には思いもよらなかった多くの事業を展開することになったことに、私自身驚きと感慨を禁じ得ませんが、これも皆様方のご理解・ご協力があったればこそと、重ねてお礼申し上げます。

杉の子会結成から現在までのあゆみ

- 1993年12月 知的障害者をもつ高槻、茨木地区の親たちが、施設づくりを目指して「杉の子会」を結成。
- 1994年 4月 第1回父親部会
6月 杉の子会総会
- 1995年 5月 杉の子会第2回総会
- 1996年 3月 「社会福祉法人 北摂杉の子会 設立準備会」と改称し、設立準備のための具体的活動を開始。
5月 設立準備会総会 今村会長就任
12月 法人発起人会（萩の杜と法人の設立決議）
- 1997年 6月 法人認可の内示おりず
7月 法人認可の内示おりる（国と府間折衝の結果）



養護学校のバザーに「杉の子会」として出店



「杉の子会」総会の様子



萩の杜建設現場見学会

1998年 2月 社会福祉法人としての認可を受け、「社会福祉法人 北摂杉の子会」設立

1999年 4月 知的障害者入所更生施設「萩の杜」開設。
 5月 外で働く場所として「茨木作業所」開設。
 6月 外で働く場所として「氷室作業所」開設。
 (後に「工房あぶの」と改称)
 7月 安全食品流通センター株式会社(亀岡市)で企業実習開始。
 10月 短期入所事業「ショートステイセンターぶれす」開始。

2000年 4月 大阪府からの委託を受けて、知的障害者生活支援事業「生活支援センターあんだんて」開始。

2001年 4月 萩の杜分場「工房ひむろ南」開設。「茨木作業所」閉鎖。

2002年 4月 NPO 法人大阪自閉症支援センターと合併。当法人の公益事業として新たなスタート。

4月 萩の杜分場「工房ひむろ北」開設。「工房あぶの」閉鎖。

4月 知的障害者地域生活援助事業「グループホームとんだ」開設。(後に「ケアホームとんだ」と改称)

6月 府からの委託を受け、大阪府自閉症・発達障害支援センター「アクトおおさか」開設。後に「大阪府発達障害者支援センター アクトおおさか」と改称。



法人第一号施設「萩の杜」完成



萩の杜では、「職住分離」と「ユニットケア」を実践しました。



萩の杜利用者は、昼間は街中の作業場で仕事をします。現在は地域の方も利用される「ジョブサイトひむろ」となって運営しています。



自閉症の方は、特性である視覚認知の優位性を活用して、スケジュール等視覚的支援を通して自立的に行動することの支援を大切にしています。



街中の集合住宅の一部を借りて、グループホーム(現ケアホーム)を開設



自閉症・発達障害の子供さんへの療育のニーズはますます高まっています。

- 2003年 4月 府からの委託を受け、「アクトおおさか」内で自閉症児療育強化事業開始。
- 2004年 4月 大阪自閉症支援センターにおける療育支援サービスを「児童デイサービスセンター an」として開設。
- 2005年 4月 萩の杜分場「工房ひむろ南」「工房ひむろ北」を統合し、知的障害者通所授産施設「ジョブサイトひむろ」として整備、開設。
 - 4月 知的障害者地域生活援助事業「グループホームみやた」開設。(後に「ケアホームみやた」と改称)
 - 4月 府からの委託を受け、自閉症発達障害療育等支援事業として「自閉症療育センター will」開設。(現在は自立支援法にもとづく事業として運営)
- 2006年 4月 大阪市淀川区に、自閉症者への就労支援を目的とした通所授産施設「ジョブサイトよど」を開設。
 - 5月 府よりの委託を受け、地域移行支援センター「だ・かーぼ」開設。(2007年度までの時限事業)
- 2007年 5月 ジョブサイトよどが、新事業体系(就労移行支援・生活介護)に移行。
 - 10月 高槻市城北町に法人本部事務所を開設。
 - 11月 ジョブサイトひむろが、新事業体系(就労移行支援・生活介護)に移行。



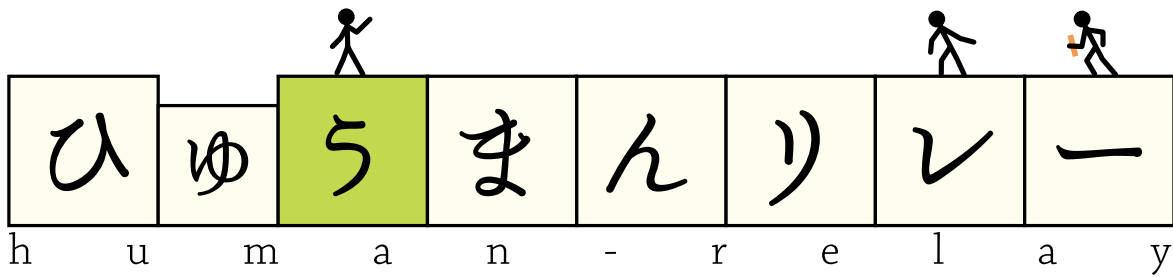
ジョブサイトよど。^{じゅうそう}十三地区事業所第一号です。同じ建物に児童デイサービスセンター an も入っています。幼少期から成人期までのつながった支援を目指しています。



ジョブサイトよどでは、厚生労働省の助成プロジェクトを活用して就労支援への道をさぐり、同時に独自商品の開発に取り組んでいます。また、府委託事業として運営しています「アクトおおさか」では、発達障害の方の相談事業を行っていますが、「ジョブサイトよど」との連携を強めて、就労支援にも力を入れて取り組んでいます。



年に4回の職員全体研修を行っています。



社会福祉法人 湖北会 第二湖北寮 北野 憲一さんより

子供の声が消える村

私が所属する「社会福祉法人湖北会」は、東海道線と北陸線の分岐点である米原から敦賀にいたる滋賀県最北部の湖北地域をエリアとして事業展開を行っている。

昨年11月北陸線が直流化され、大阪・京都から敦賀まで乗り換えなしで行けるようになった。列車が北陸線に乗り入るとすぐに琵琶湖が目飛び込んでくる。とりわけ夕日が琵琶湖西岸に沈みこむ一瞬に列車に乗り合わせると、見慣れた風景とはいえ、思わず目を奪われてしまう。風光明媚な地域である。

この地域は、11月から「湖北時雨」という名の氷雨に見舞われることが多くなる。やがてそれは雪に変わる。山間部は豪雪地帯として名高く、冬場2メートル近くの雪は当たり前の世界である。3月までは、鉛色の空との付き合いが続く。

この地域には、「限界集落」といわれる村が、山間部を中心に7箇所ある。「限界集落」とは、集落の過疎化がひどく、高齢者が住民の50パーセントを超えた集落のことを言うらしい。聞いただけでも悲しいイメージと寂しさにやりきれない思いがする。

限界集落に至る要因は、いくつかあるが、湖北の7箇所は、一般の農山村で過疎化・高齢化が進行したケースである。全国的に見れば、2006年4月時点で3256集落が限界集落だった。この内、2643集落が消滅する恐れがあり、うち423集落は10年以内に消える可能性があるという国の調査結果が出ている。

限界集落は、山間部に多い。この要因として、経済活動の都市集中が大きな要因の一つだろう。このほか、新しい村離れの原因は、都市的文化生活への憧れ、子供の教育、古い村のしきたりからの逃げなどが上げられる。また、高齢者比率の上昇からくる若者への村の経営管理への比重の重みも離村の間接的影響となっているのではないかと考えられる。

私の集落も「限界集落」ではないが「準限界集落」である。

2年後には中学生以下の子供は居なくなる。近年急激に村の維持管理が困難な状況になってきている。裏山に一歩足を踏み入ると、何年も人の手は入らない、杉とヒノキの林が続き、日光が届かず下草も生えない地表面が広がり、野鳥のさえずりもなく、枯れ枝を踏む音以外何も聞こえない沈黙の森が広がる。時折山道らしきものがあると、それは獣道である。また、放置田も目立ってきた。「限界集落」といわれる集落の田は、その大半が放置田となっている。放置田の隣は、水利の問題等から放置田となることが多い。負の連鎖がここにある。荒廃は無数の広がりとなる。これは洪水等の自然災害の引き金となり、単に一集落の問題ではない。

遅ればせながら、国も対策に乗り出したが、大都会のビルの中で、「限界集落」の実際がわかるはずもないし、数回の視察では、実感もわからないであろう。地域の問題は地域で解決しなければ、再生は不可能である。地域の真価が問われている。地方の時代である。

障害者自立支援法も大都市・行政の発想で、決して地域・当事者の発想とは思えない。地域福祉とは、地域の特性の中で、それに沿って展開されるものと思う。画一的な都市集中型発想の福祉では、「限界支援」の地域が生まれるのではないかと、雪帽子を冠った山に利用者の笑顔を重ね合わせる。えらい、暗い話になってしまいました。

次は、「よこはま自閉症支援室」の関水実氏にお願いしました。氏には、12月に当法人主催のセミナーでご講演を頂きました。氏の小気味よい講演に感動し、それ以上に「琵琶湖が好きで」という言葉に思わず抱きつきたくなり、バトンをお渡ししました。切れ味鋭く。小気味のいい話を聞かせてもらえそうです。





構造化のアイデア

パート4 (最終回) 地域の中へ

自閉症支援部 部長

にい ざわ のぶ こ
新 澤 伸 子

「構造化のアイデア」最終回は、地域の中への広がりについてお話ししたいと思います。自閉症の人とのバリアフリーを本当の意味で実現するためには、パート2やパート3でご紹介した「時間の情報」や「場所の持つ意味」を視覚的にわかりやすく伝えるためのアイデアを、地域の中へ、そして、一生涯を通して活用できるように広げていくことが重要です。

地域に広げていく際に、何が一番バリアになっているかというと、実は、私たち自身が、「特別扱いはよくない」とか「みんなと同じでないのはおかしい」といった考えから、なかなか一歩踏み出せないことにあるのではと思います。

「写真カードなど特別な手段を使っているけど、将来、社会に出たら、言葉で理解できないと通用しない。」と、こういう声をお聞きすることがよくあります。しかし、街中を歩いてみると、いろいろなところで、情報の視覚化が見られます。家庭や施設内よりもむしろ、いろいろな人が利用する地域の方が、情報を視覚化することの必然性が大きいために、活用されているのかもしれない。



病院内の経路



女性専用車乗車位置



優先座席

皆さん、点字ブロックは誰がどのように始めたかご存知ですか？今から50年くらい前に岡山で旅館を営んでいた三宅精一さんが、失明した友人のために考案し、岡山県や当時の建設省にかけあい続けた結果、1967年に初めて岡山県内に230枚の点字ブロックが、三宅氏の寄贈により設置されました。当初は金儲けのためとか、そんなことをしても意味がないとか、誤解や批判にさらされつつも、その後も私財をなげうって点字ブロックを寄贈しつづけました。それが、今では全国津々浦々、海外にまで広がっているのです。

「構造化」は、それを必要としているご本人が、地域の中で、より自立して自信をもって、生活することを支援するためのものです。たとえば、家族と家の中でいつもどおりの生活をしている限りでは、大きな混乱はなかった人が、ガイドヘルパーさんと地域にお出かけするようになった際、お母さん以外の人とのコミュニケーションがうまくとれなかったり、家族と出かけたときと少し道順や活動パターンが変わっただけでパニックになったり、ということがあると、外出の機会もますます減りがちになります。青年・成人になれば、親に指示監督される生活よりも、誰だって自分で自由に行動したいと思うようになります。幼児・学齢期から、その子どもが自分で理解し、判断できるように、情報を視覚的に

翻訳し、お互いにていねいに伝え合うことを大切にしていくと、思春期になって、親離れ子離れすることが、お互いにスムーズになります。

「構造化」された環境の中で育てられると、ふつうの環境に適応できなくなるというのも誤解です。「意味が見えることでわかる」経験や、「変更が事前にわかるように伝えられる」経験を重ねることで、初めての場面や変化に対しても、より自信をもって対応できるようになっていきます。

構造化を地域の中に持ち込む

イラストで活動が説明されれば、初めて会ったボランティアさんとも、プールで楽しめます。



公共プールで、プールサイドに全員上がらなければならない時間も、あらかじめ見通しがつくように示しています。



その日のスケジュールを確認して、ヘルパーさんとお出かけ。ルンルン。

プールに何回入れるのか、数字カードで示しています。



文字と写真で示された指示書を片手に、ひとりでレンタルビデオ屋さんにビデオをかりにいきました。

「構造化」は、自閉症の人たちを支援するためのものというより、私たちが自閉症の人たちをよりよく理解し、意味を共有しあって、共に喜していくために、お互いにとって必要なものだといえます。点字ブロックのように、地域の中に、ごく当たり前に、視覚的な支援が拡がり、それと同時に、自閉症の人たちへの理解が広がっていくことを願いつつ、「構造化のアイディア」のシリーズを終えたいと思います。

掲 示 板 コ ー ナ ー

(平成 19 年 9 月から平成 19 年 11 月まで)

法人本部 総務部 掲示板

- | | | | |
|--------|------------------------------------|--------|----------------------------------|
| 9月 3日 | 経営会議 | 講師 | 株式会社かんでんジョイライフ |
| 25日 | 運営会議 | | (関西電力グループ) |
| 10月 9日 | 経営会議 | | サービス部 部長 高山 彰彦氏 |
| 11日 | 本部事務所 高槻市城北町1丁目6番6
奥野ビル 402号に開設 | | (社会福祉士/介護支援専門員) |
| 20日 | 法人全体研修 | 22日 | 運営会議 |
| | 会場 高槻市立生涯学習センター 第2会議室 | 11月 5日 | 経営会議 |
| | 研修 ①「職場のメンタルヘルス」 | 11日 | 第44回理事会・第24回評議員会開催 |
| | 講師 松下電器健康保険組合 | | 会場 高槻市立生涯学習センター 研修室 |
| | 松下健康管理センター | | 決議事項 第1号議案 評議員選任の件 |
| | 予防医療部メンタルヘルス課 | | 第2号議案 平成19年度 |
| | 篠原 博子氏(臨床心理士) | | 法人・施設 補正予算の件 |
| | ②「福祉職場におけるスーパーバイズ
について」 | | 第3号議案 パートタイマー職員
就業規則の一部改定について |
| | | 27日 | 運営会議 |

(安原 記)

萩の杜 掲示板

- | | | | |
|--------|-------------------|--------|----------------------|
| 9月 1日 | 旅行(神戸フルーツフラワーパーク) | 17日 | 精神科相談/課長・主任会議 |
| 2日 | 自閉症研修会(法人内研修) | 18日 | 生活介護係会議 |
| 4日 | 歯科検診 | 20日 | 旅行(ハーベストの丘) |
| 5日 | 精神科相談/課長・主任会議 | 23日 | 余暇委員会/歯科検診 |
| 6日 | マニュアル検討委員会 | 26日 | 旅行(ひらかたパーク) |
| 11日 | 歯科検診、自閉症研修会 | 30日 | 歯科検診/余暇委員会 |
| 13日 | 旅行委員会 | 31日 | 課長・主任会議 |
| 14日 | 旅行(神戸フルーツフラワーパーク) | 11月 1日 | マニュアル検討委員会 |
| 18日 | 歯科検診 | 6日 | 歯科検診 |
| 19日 | 精神科相談 | 7日 | 精神科相談 |
| 20日 | 生活介護係会議 | 8日 | 旅行委員会 |
| 21日 | 自閉症研修会(法人内研修) | 9日 | 旅行(須磨水族館) |
| 25日 | 歯科検診 | 13日 | 歯科検診 |
| 26日 | 職員検診 | 14日 | 課長・主任会議 |
| 27日 | 余暇委員会 | 17日 | 旅行(ブルーメの丘)/eネット月例報告会 |
| 28日 | 旅行(ブルーメの丘) | 19日 | 生活介護係会議 |
| 10月 2日 | 歯科検診 | 20日 | 歯科検診 |
| 3日 | 精神科相談 | 21日 | 精神科相談 |
| 4日 | マニュアル検討委員会 | 23日 | 余暇委員会 |
| 5日 | 課長・主任会議 | 24日 | 旅行(ユニバーサルスタジオジャパン) |
| 10日 | 旅行委員会 | 27日 | モデル施設サポート事業/歯科検診 |
| 12日 | 旅行(ブルーメの丘) | 29日 | 利用者検診 |
| 16日 | 歯科検診/モデル施設サポート事業 | 30日 | 旅行(みさき公園) |

(河坂 記)

ジョブサイトひむろ掲示板

- | | | | |
|-------|--|--------|---|
| 9月 4日 | 高槻市行政監査
エアロビクス①グループ(ゆうあいセンター) | 20～21日 | ふれあいひろばバザー
・10月見学者(来所者) 4組6名
・10月実習生(ガイドヘルパー) 4名4日間
・10月体験実習 1名1日間 |
| 7日 | そうぞう2グループレクリエーション | 11月1日 | 知的障害者通所授産施設(40名定員)から障害者自立支援法に基づく生活介護事業(25名定員)就労移行支援事業(15名定員)の2事業による多機能型で新事業体系に移行しました。 |
| 11日 | エアロビクス②グループ(ゆうあいセンター) | 12日 | 新事業体系移行説明会(高槻市現代劇場)
新事業移行による面談の開始 |
| 17日 | 祝日開所日
ひむろ利用者と萩の杜利用者が出勤されました。 | 13日 | 避難誘導訓練、消火訓練の実施
エアロビクス(ゆうあいセンター) |
| 21日 | ジョブサイトひむろ会議 | 16日 | ジョブサイトひむろ会議 |
| 24日 | 祝日開所日
ひむろ利用者と萩の杜利用者が出勤されました。 | 23日 | 祝日開所日
ジョブサイトひむろ利用者、萩の杜利用者が出勤されました。 |
| 26日 | 平成19年度第3回家族会定例会
(高槻市現代劇場) | 30日 | 就労移行支援勉強会(ジョブサイトひむろ)
高槻市障害者就業・生活支援センター成瀬氏を講師に迎えました
・11月見学者(来所者)6組27名
・11月実習生 2名4日間
(平野 記) |
| 28日 | ジョブサイトひむろ日帰り旅行
1班 天保山ハーバーランド・海遊館
2班 兵庫県立フラワーパーク
3班 堺ハーベストの丘
・9月見学者(来所者)2組4名
・9月実習生(大学生)3名延べ16日間 | | |
| 10月8日 | 祝日開所日
ジョブサイトひむろ利用者、萩の杜利用者が出勤されました。 | | |
| 9日 | エアロビクス①グループ(ゆうあいセンター) | | |
| 12日 | ジョブサイトひむろ会議 | | |
| 16日 | エアロビクス②グループ(ゆうあいセンター) | | |
| 20日 | 法人研修会 | | |

自閉症支援部掲示板

○大阪自閉症支援センター

- 9月13日 大阪自閉症支援センター
平成19年度公開基礎講座①実施
- 10月4日 大阪自閉症支援センター
平成19年度公開基礎講座②実施
- 25日 大阪自閉症支援センター
平成19年度公開基礎講座③実施
- 11月7日 大阪府発達障害指導員等養成研修
療育者養成講座1・2実施
- 21日 大阪府発達障害指導員等養成研修
療育者養成講座3・4実施
- 22日 大阪自閉症支援センター
平成19年度公開基礎講座④実施
- 保護者研修(入門講座・実践講座)各月1回実施
- 和泉市教育委員会巡回相談(小学校 計4回)
- 泉大津市教育委員会巡回相談(小学校 計1回)
- 高槻市教育委員会巡回相談(幼稚園・小学校 計4回)
- 摂津市教育委員会巡回相談(小学校 計1回)
- 豊能町教育委員会巡回相談(小学校 計3回)

- 枚方市教育委員会巡回相談(幼稚園 計2回)
- 大阪狭山市教育委員会巡回相談(小学校 計1回)
- 堺市教育委員会巡回相談(小学校 計1回)
- 研修会・講演会への講師派遣(大阪府教育センター、大阪府自立相談支援センター、大阪府富田林市子ども家庭センター、舞洲障害者スポーツセンター、大阪市都島第二工業高校、)

○アクトおおさか

- 9月 4日 大阪府発達障害職業訓練検討会出席
- 7日 大阪労働局就職チューター意見交換会
発達障害者専門指導監派遣
- 12日 大阪府発達障害者支援体制整備検討委員会出席
- 14日 厚生労働省発達障害施策検討委員会
第2回企画・編集連絡会出席
- 17日 障害者自立支援調査研究プロジェクト
第2回全体会議出席
- 10月2日 大阪労働局研修会 発達障害者専門指導監派遣
- 11日 大阪府発達障害団体ネットワーク第2回
ネットワーク会開催 事務局担当

- 15日 大阪府成人期発達障害支援機関連絡会出席
 17日 アクトおおさか3回連続講座
 高機能広汎性発達障害の理解②実施
 24日 大阪府特別支援教育連携協議会第1回検討部会出席
 11月6日 厚生労働省発達障害施策検討委員会
 第3回企画・編集連絡会出席
 12日 大阪府発達障害支援体制整備委員会出席
 21日 大阪労働局就職チューター意見交換会
 発達障害専門指導監派遣
 26日 大阪府特別支援教育連携協議会第2回検討部会出席
 枚方市・四條畷市小中学校巡回相談（月1回実施）
 河内長野市・東大阪市小中学校巡回相談（隔月実施）
 高槻養護学校巡回相談（月1回実施）
 富田林養護学校巡回相談（隔月実施）
 東大阪市療育センターコンサルテーション（計2回）
 和泉の里コンサルテーション（計2回）

（新澤 記）

○児童デイサービスセンター an

- 9月 3日 療育スタート
 7日 保護者研修入門
 14日 保護者研修実践
 21日 保護者研修応用

- 10月5日 保護者研修入門
 12日 保護者研修実践
 19日 保護者研修応用
 25日 療育支援課 PEP IIIの研修

11月1～8日

個別指導計画ミーティング期間

- 2日 保護者研修入門
 9日 保護者研修実践
 16日 保護者研修応用

○自閉症療育センター will

- 9月12日 保護者指導 実践グループ
 19日 保護者指導 入門 (A)
 26日 保護者指導 入門 (B)
 10月3日 保護者指導 実践グループ
 10日 保護者指導 入門 (A)
 17日 保護者指導 入門 (B)
 31日 保護者指導 実践グループ

11月6～16日

個別指導計画ミーティング期間

- 21日 保護者指導 入門 (A)
 28日 保護者指導 入門 (B)

（谷岡 記）

ジョブサイトよど掲示板

- | | |
|-------------------------|--------------------------|
| 9月 3日 支援員会議 | 11日 見学 高槻就業・生活支援センター |
| 4日 厚生労働省PJ会議 | 12日 レクリエーション5階① 神戸布引ハーブ園 |
| 5日 見学 茨木就業・生活支援センター | 15日 支援員会議 |
| 5日 パート職員研修会 | 16日 業務会議 |
| 7日 業務会議 | 16日 職員勉強会（ひまわり） |
| 10日 ケース会議 | 16日 厚生労働省PJ会議 |
| 11日 業務会議 | 18日 見学 はーとらんど |
| 12日 見学 大阪府障害者自立支援室 | 22日 給食会議 |
| 12日 厚生労働省PJ会議 | 24日 厚生労働省PJ会議 |
| 13日 業務会議 | 26日 レクリエーション5階② 神戸布引ハーブ園 |
| 13日 見学 大阪知的障害者福祉協会 | 26日 工賃支給日 |
| 18日 職員勉強会（ひまわり） | 29日 レクリエーション5階③ 神戸布引ハーブ園 |
| 18日 支援員会議 | 11月1日 利用者レントゲン健診 |
| 19日 給食会議 | 5日 業務会議 |
| 20日 見学 難波養護学校PTA | 5日 支援員会議 |
| 25日 パート職員研修会 | 6日 レクリエーション3階 キューピー伊丹工場 |
| 27日 見学 桃山学院大学 | 8日 厚生労働省PJ会議 |
| 28日 工賃支給日 | 12日 厚生労働省PJ会議 |
| 10月1日 支援員会議 | 16日 レクリエーション4階 キューピー伊丹工場 |
| 2日 レクリエーションJ ブランチ 京都植物園 | 16日 見学 日置川みどり園 |
| 9日 龍谷大衣裳さん実習開始 | 19日 見学 大阪育成会学齢期部会 |
| 10日 見学 豊中養護学校 | 19日 施設見学会 |
| 10日 厚生労働省PJ会議 | 19日 給食会議 |
| 11日 見学 クローバー | 19日 支援員会議 |

20日 職員勉強会（ひまわり）
21日 厚生労働省PJ会議
27日 見学 衆議院労働調査室

29日 見学 芦原職業技術専門学校
29日 見学 京都知的障害者施設協議会
30日 工賃支給日

（佐々木寛 記）

萩の杜家族会掲示板

9月 7日 物品倉庫の整理（18名参加）
10日 サークル萩
23日 役員会 役員6名 出席
平原さん退任に伴う新役員候補の選定
次回のホットトークのテーマについて：危機管理、安全対策
23日 フリートーク：危機管理
施設内外での利用者の事故についての施設としての対応、
保護者の意見等（中村理事長 松上統括施設長、河坂施設長出席）
23日 定例会 会員18名 中村理事長 松上統括施設長、河坂施設長 安原部長 出席
法人の本部事務所開設についてと新職員：田口定さんの紹介（安原部長）
新作業所建設の進捗状況（松上統括施設長）
10月以降のバザー実行計画について その他
23日 カトリック教会バザー
27日 サークル萩：危機管理委員会のあり方について（18名出席）
10月 5日 ホットトーク：危機管理（中村理事長、松上統括施設長、河坂施設長、13名 出席）
14日 奥坂コミセン文化祭バザー
21, 22日 たかつきふれあい広場バザー
25日 サークル萩
28日 カトリック教会バザー

11月 3日 希望の杜バザー
4日 役員会 役員9名 出席
新役員候補選定 資金部：森田さん、事務局：飯塚さん
4日 定例会（10月度） 会員18名、中村理事長、松上施設長、河坂副施設長 出席
団体障害保険について
危機管理委員会メンバーの選出
新役員の選出 資金部：森田さん、事務局：飯塚さん
ひむろへの送迎に関する注意喚起
イオンの黄色いレシート活動の成果報告
12日 サークル萩
18日 草刈実施 32名、松上統括施設長 河坂施設長参加 寄付7件8千円
19日 危機管理委員会 保護者4名、河坂施設長、下課長 出席
22日 サークル萩
25日 定例会 会員16名 出席
第一回危機管理委員会報告
来春のクロスカントリーバザー計画について、その他
25日 カトリック教会バザー

（植松 記）

ジョブサイトひむろ家族会掲示板

9月26日 定例会
1. 役員交代について
会長沖本氏の後任として新会長に副会長豊澤氏就任、副会長には新任の福本氏就任。
以下各役員は留任
切石副会長
川合会計幹事
井田会計監査
田中事務幹事
西原事務幹事
森事務幹事
2. 新事業体系移行について説明
3. 生活介護作業所の新設について説明

10月12日 バザー抽選会 豊澤会長出席

20日 たかつきふれあい福祉バザー出店
21日 たかつきふれあい福祉バザー出店
売り上げ金額108,045円
11月 1日 高槻ミュンヘンにて沖本前会長慰労会実施
25名出席
11日 法人理事会評議員会 豊澤会長出席
12日 ひむろ説明会
新事業体系について平野施設長より説明を受ける

（豊澤 記）

北摂杉の子会後援会掲示板

<近況報告>

萩の杜、ジョブサイトひむろ、ジョブサイトよどの家族会を含む多くの方々のご支援をいただき、ありがとうございます。また、ご寄付も頂いています。今後ともより一層のご協力をよろしくお願い申し上げます。

(会員数)

○2007年9月末

個人会員：584名

団体会員：18団体 合計：602名/団体

寄付：1件

○2007年10月末

個人会員：579名

団体会員：15団体 合計：594名/団体（退会会員がありました）

寄付：0件

○2007年11月末

個人会員：584名

団体会員：15団体 合計：599名/団体

寄付：4件

（今年度の新規会員：個人；69名、団体；1団体）

（棚山 記）

ジョブサイトよど家族会掲示板

9月3日 家族会役員会開催。100円喫茶実施。

6日 オアシス役員会で、100円喫茶実施。

10日 勉強会（オアシスと共催）参加者14名

松上統括施設長に「障害者自立支援法と行政の動向について」講義受けた。100円喫茶実施。

13日 十三市参加。

19日 ノースカロライナ大学 TEACCH 部

フェイアットビル TEACCH センター所長

ステイブ・クルーパー博士を JS よどへ

お迎えした。

27日 オアシスサロンで、100円喫茶実施。

28日 ジョブサイトよど新聞9月号発行。

10月1日 家族会役員会開催。100円喫茶実施。

4日 オアシス役員会で、100円喫茶実施。

11日 大阪府発達障害団体ネットワーク講演会役員3名参加。

12日 地域啓発。淀川区社会福祉協議会、

十三連合振興町会長宅訪問。

（会長、会計）

13日 十三市参加。

15日 家族会定例会開催。会員20名参加。

中村理事長をお招きして、意見交換した。

22日 大阪市障害者就業。生活支援センター支援係

長前野哲哉氏をお迎えして、「安定雇用に向けた就労支援の実際について」講義受けた。

100円喫茶実施。

24日 バザー準備のため臨時役員会開催。

28日 堺ファインエリアフェスティバルバザーにオアシスと参加。

29日 オアシスサロンで、100円喫茶実施。

11月5日 家族会役員会開催。100円喫茶実施。

8日 オアシス役員会で、100円喫茶実施。

オアシス副会長和泉歯科医師に家族会から歯科検診依頼。

利用者16名歯科検診受ける。

9日 淀川区保健福祉センター地域保健福祉生活環境係長森河内巖氏に

「衛生について」12月定例会勉強会の講師依頼訪問。（会長）

11日 北摂杉の子会理事、評議委員会参加。（河端、福田）

13日 十三市参加。

15日 オアシス座談会で、100円喫茶実施。

19日 大阪市育成会学齢委員会有志施設見学のため、100円喫茶実施。

26日 オアシスサロンで、100円喫茶実施。

（福田 記）

大阪自閉症支援センターを発展させる会 オアシス 掲示板

9月1日 「自立に向けて調理実習」（就労委員会）

6名参加

大学生、社会人10名の方がボランティアでサポート

6日 役員会

10日 9月勉強会「自立支援法に求められた新たな

役割」14名参加（就労委員会・ジョブサイトよど家族会との共催）

講師：

北摂杉の子会常務理事 松上利男氏

10日 オアシス新リーフレット発行 2000部

- 印刷はジョブサイトよどへ委託
- 14日 会員へ「療育・研修事業に関するアンケート」実施
発送業務はジョブサイトよどへ委託
- 16日 おやじの会 ゴルフで交流
於：篠山ゴルフ倶楽部 西コース
- 27日 「オアシスサロン」 22名参加
- 29日 おやじの会 勉強会「遺伝子の研究について」
- 10月4日 役員会
- 11日 大阪府発達障害団体ネットワーク
第2回ネットワーク会 「医療について」
於：大阪市長居障害者スポーツセンター
2階講習室
- 21日 おやじの会 バーベキュー
於：丹波篠山溪谷の森公園
- 22日 10月勉強会「安定雇用に向けた就労支援の
実際」 31名参加
(就労委員会・ジョブサイトよど家族会との共催)
講師：大阪市障害者就業・生活支援センター
前野哲哉氏
- 28日 ファインエリアフェスティバルにバザー出店
(収益委員会)
- 29日 「オアシスサロン」 21名参加
- 11月4日 就労体験(3) (学齢委員会)
会員児がいるか通信発送作業を手伝う
10名参加
大学生11名がボランティアでサポート
- 5日 いるか通信20号発行 (広報委員会)
印刷はジョブサイトよどへ委託
- 8日 役員会
- 11日 就労体験(4) (学齢委員会)
会員児がいるか通信発送作業を手伝う
7名参加
大学生7名がボランティアでサポート
- 〃 北摂杉の子会理事・評議員会(前会長)
- 13日 十三市にバザー出店 (収益委員会)
〃 大阪府教育センター訪問(会長)
- 15日 新澤伸子先生を囲んでの座談会
(交流委員会) 36名参加
「どんな風に障がいの事を伝えていきますか？」
CHUCHUプロジェクト(高槻市)による発達
障害の紙芝居上演
- 22日 いるか通信20号編集会議(広報委員会)
- 23日 おやじの会 東大阪市の親の会が主催するハ
イキングに参加
- 26日 「オアシスサロン」 21名参加
- 27日 大阪市発達障害者支援センターエルムおおさ
か訪問(会長)
- 29日 学習会(研修委員会) 5名参加
「困っちゃった! Part 4」
於：大阪市長居障害者スポーツセンター 和室
〃 新澤伸子センター長の関西学院大学社会学部
講義を取材(前会長)

(南木 記)

お知らせ

■ジョブサイトひむろが新事業体系に移行しました。

知的障害者通所授産施設として運営してまいりました「ジョブサイトひむろ」が、11月より「生活介護」および「就労移行支援」の新事業体系の二つの事業を行う事業所へと変わりました。

これにより、就労意欲のある利用者に対しては、より一層の就労への機会を提供できるよう、また、生活介護の方々については、日々のより充実した過ごしを提供できるよう、今後さらに力を入れていくこととなります。

みなさまの変わらぬ、さらなるお力添えをいただければと存じます。

■法人ホームページのご案内(職員採用、ほか)

法人ホームページでは、法人事業所の求人情報のページを設けております。法人では新事業体系への移行にともない、重度の方の多い施設を中心に職員配置基準(利用者ひとりあたりの最低職員数)が上

がるため、職員の方の募集を始めています。また次年度以降の新規事業所開所を見越した正職員(既卒者、2009年春採用の新卒者および第2新卒者)・嘱託職員・パート職員の採用を予定しており、一部募集を開始しております。募集状況をホームページの「採用情報」にアップいたしますので、当法人で職員として働くことにご興味のある方は、ぜひページの更新内容のご確認をこまめにお願ひしたいと思います。また、お知り合いの方にもご紹介いただけますと、ありがたく存じます。

同じく、「^{まつかみとしお}松上利男の一言」のページでは、法人常務理事であり統括施設長をつとめております松上が、過去の経験を織り交ぜながら、日々思うことをつづり、月に2回ほど更新しております。こちらでもぜひ一度お読みいただき、お気軽にご感想をいただければと思います。

ホームページ：<http://www.suginokokai.com>
ご感想などのメール受付：mailnews@suginokokai.com

□法人へのご寄付に感謝します。(2007年10月1日～12月31日)

浅野憲治 河端良一 福田啓子 井上 晃 古門貞利 藤木利夫 株式会社大成商会 有限会社幸英不動産
小川敏夫 不二園芸

□後援会ご入会と会費納入に感謝します(2007年9月27日～11月22日)

高原正義 高原加代子 高原由江 山根裕史 山根生江 黒田節子 榎本浩之 榎本滋子 吉川輝夫 吉川弘子
吉川敦子 上杉国彦 本間和子 中西 弘 本田利秋 本田 聡 本田宏美 本田英世 本田賀子 本田俊之
梅本順子 棚山勝行 黒澤桂子 澤田博美 佐藤雅樹 佐藤友香 棚山薫晴 棚山 妙 森谷弘雅 森谷薫美
森谷奈津美 倉本ことみ 大谷千由子 今井恵美子 井上惇子 宮地和子 下川八重子 佐々木久美子

□後援会へのご寄付に感謝します。(2007年9月27日～11月22日)

匿名様 棚山薫晴 諸富信子 アローエンジニアリング

□家族会へのご寄付に感謝いたします。(2007年9月24日～12月31日)

からと、ほかほか弁当茨木園田店、植松、本田、長尾

□物品のご提供に感謝いたします。(11月25日まで)

不二園芸、山口直敬、金森、滝本、上原、成田敬子

□ボランティアに感謝いたします。(11月末まで)

ほかほか弁当茨木園田店 岡本敦子 松木咏子 佐々木映子 坂井恵美子 岩和俊 松崎めぐみ 永井由美子

(敬称略 順不同)

寄付と後援会入会のお願い

社会福祉法人「北摂杉の子会」後援会の趣旨に賛同され、ご支援して下さる方々の寄付及び後援会への入会をお願い申し上げます。寄付金と後援会費は法人を支援するための資金とさせていただきます。

お振込みは右記口座までお願いいたします。皆様のご支援とご協力をよろしくお願い致します。

記

- ◇ 1. 寄付金 円
- ◇ 2. 個人会員 年間一口 2,000円
- ◇ 3. 団体会員 年間一口 10,000円

✿ 郵便振込口座 北摂杉の子会 ✿
00920-8-90859

□ 社会福祉法人 北摂杉の子会 法人本部事務所
〒569-0071 高槻市城北町1丁目6-6 奥野ビル402
TEL (072) 662-8133 FAX (072) 662-8155
[E-Mail] info@suginokokai.com
[URL] http://www.suginokokai.com

□ 知的障害者生活施設 萩の杜
〒569-1054 高槻市大字萩谷14番地1
TEL (072) 699-0099 FAX (072) 699-0130
[E-Mail] haginomori@suginokokai.com

□ ショートステイセンター ぶれす
〒569-1054 高槻市大字萩谷14番地1
TEL (072) 699-0099 FAX (072) 699-0130
[E-Mail] breath@suginokokai.com

□ ケアホーム とんだ
〒569-0814 高槻市富田町5-13-14 101号室

□ ケアホーム みやた
〒569-1142 高槻市宮田町3-4-1 105号室

■ 高槻市障害者地域移行支援センター だ・かーぼ
〒569-1141 高槻市氷室町3-20-10
TEL (072) 690-5221 FAX (072) 690-5227
[E-Mail] da-capo@suginokokai.com

□ ジョブサイトひむろ(就労移行支援・生活介護事業)
〒569-1141 高槻市氷室町1丁目14-27
TEL & FAX (072) 697-2234
[E-Mail] himuro@suginokokai.com

■ 生活支援センター あんだんて
〒569-1141 高槻市氷室町1丁目14-27
TEL (072) 697-2233 FAX (072) 697-2234
[E-Mail] andante@suginokokai.com

■ 大阪府発達障害者支援センター アクトおおさか
〒532-0023 大阪市淀川区十三東3丁目18-12
イトウビル1F
TEL (06) 6100-3003 FAX (06) 6100-3004
[E-Mail] act-osaka@suginokokai.com

□ 自閉症療育センター will
〒569-0077 高槻市野見町3-14 第2高谷ビル2F
TEL (072) 662-0100 FAX (072) 662-0056
[E-Mail] will@suginokokai.com

□ ジョブサイトよど(就労移行支援・生活介護事業)
〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目4番2号
TEL (06) 6838-7007 FAX (06) 6838-7015
[E-Mail] yodo@suginokokai.com

□ 大阪自閉症支援センター
〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目4番2号
TEL (06) 6838-8990 FAX (06) 6838-7015
[E-Mail] o-center@suginokokai.com
[URL] http://oasc.jp

□ 児童デイサービスセンター an
〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目4番2号
TEL (06) 6838-8990 FAX (06) 6838-7015
[E-Mail] an@suginokokai.com [URL] http://oasc.jp

※■は行政よりの委託事業

発行人 社会福祉法人北摂杉の子会 理事長 中村節史
発行日 2008年1月10日

発行所 北摂杉の子会 住所 大阪府高槻市大字萩谷14番地1

定価 100円